

第6回男のフェスティバル in 九州 分科会

家事としての男の料理の 達人めざして！

— 基本の「き」から一緒に —

と き 2001年9月8日(土) 午後1時30分～午後4時

ところ 福岡市女性センター アミカス(西鉄大牟田線「高宮」駅下車すぐ)
☎092-526-3755(代)

講 師 吉田清彦(家事としての男の手料理研究家)

京阪神ほかで料理教室をひらく一方、「CMの中の女と男」「“男らしさ”から“自分らしさ”へ」など、幅広い分野で講師を務める。

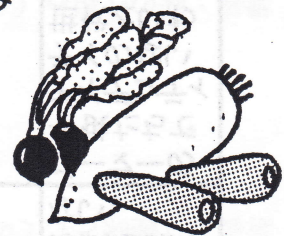
材料代 800円

※材料代のほかに、男のフェスティバルの参加費(2日間通し)1,500円が必要です。

もってくるもの 包丁、(できれば)まな板、ふきん2枚、エプロン、ビニール袋

募集人数 先着26名(男性のみ)

日々の暮らしを支える「家事としての料理」と、たまに気が向いたときにする「趣味としての料理」は、本来、別のものであります。「食」は家族の健康と命に直接かかわっており、日々の暮らしを支える「家事としての料理」は、男であれ、女であれ、人が生き、暮らしていくうえで不可欠なものです。2時間半という短い時間ですが、包丁の持ち方や切り方のコツ、味の仕組みや味付けのコツ、栄養のバランスや献立の組み方など、「家事としての料理」に必要な基本的な知識と技(わざ)のポイントをプロの調理人が、わかりやすく説明し、簡潔に伝授します。「家事としての料理」に取り組もうという意欲のある人なら、今まで包丁をさわったことがない人でも、気軽にチャレンジしてください。今夜からでも、楽しく台所に立つことができます。



お申込み方法 氏名・年齢・職業・電話番号をご記入の上、9月5日(水)までに、

FAXで、06-6499-1274(吉田)までお申込みください。

◆「男のフェスティバル」は9月8日(土)、10日(日)の2日間を通して開催されます。

「みんなで語る家事・育児」「男のための非暴力ワーク」「男の井戸端会議」など、さまざまな分科会が用意されています。詳しい内容等については、「男のフェスティバル」実行委員会事務局

(TEL:092-833-6111 FAX:092-851-9259)までお問い合わせください。